


令和5年度		
氏名	ひらやなぎ けいこ 平柳 啓子	
生年	昭和39年生	
住所	静岡県富士市	
品目	富士の茶（有機） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富士市内における作物栽培面積の1位はお茶（552ha、農林業センサス）であり、富士市の基幹作物</li> <li>・ 明治初期に日本茶の輸出が盛んになり、富士地域でも茶園の造成が進んだ</li> <li>・ 静岡県として、茶業振興計画（2022-2025年）の中で、有機栽培の茶園面積を現状（2020年）の約200ha（茶園面積の1%）から400haに拡大することを目指している</li> </ul>	
技術	付加価値を高めた茶園経営に向けた、有機栽培、新品種の導入等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 静岡県茶手揉技術資格「師範」認定（令和元年）</li> <li>・ 茶業の収益を増加させるため、自ら店舗やネット通販で販売することに加え、「やぶきた」に代わる品種の導入、有機栽培への転換を図る             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成2年に就農当初は減農薬栽培に取り組んだが、平成17年には農薬や化学肥料を使用しない栽培体系へ転換。令和3年に有機JAS認証を取得</li> <li>・ 新品種導入に際して、品種特性に合わせた栽培技術を確立し、「やぶきた」比率を低下させ、現在、「さえみどり」や「おくみどり」など10品種を経営の中に取り込んでいる</li> </ul> </li> <li>・ なお、健康志向の高まりを受け、独特の臭気を低減させた「ギャバロン茶」の生産にも令和2年から本格的に取り組む</li> </ul>	
活動状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区まちづくりセンターでの手摘み体験、呈茶イベントの講師</li> <li>・ 小中学校でのお茶の淹れ方教室、職業講話</li> </ul>	
相談に応じられる分野・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品種特性に合わせた栽培技術</li> <li>・ 有機茶栽培技術</li> <li>・ 高含有GABA茶の加工技術</li> </ul>	
受賞歴等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本茶アドバイザー5期生</li> </ul>	
主な役職	なし	
HP	<a href="https://yamahiraen.net/">https://yamahiraen.net/</a> （山平園）	



人手で草取りをする作業風景。